

ビッグデータを活用した 交通安全対策プロジェクトのパッケージ化 ～「こども・交通事故データマップ」を公開します～

市内全域の小学生・中学生の交通事故の発生場所や事故の概要をGoogleマップで確認できる「こども・交通事故データマップ」を公開します。子どもの交通事故に特化して、多くの方が使い慣れているGoogleマップをベースに、操作のしやすさやわかりやすさを重視した地図として「見える化」します。

全市立小学校 340 校の、スクールゾーン対策協議会をはじめ、地域の方々や保護者の皆様などにも広くご覧いただき、「子どもの交通安全対策」の推進に活かしていきます。

また、横浜市では令和5年度より新事業としてこのマップを活用し、「子どもの通学路交通安全対策事業」を推進していきます。マップの公開は、本事業のスタートとなる取組です。

【掲載イメージ】



こども・交通事故データマップはこちら



横浜市 交通事故データマップ 検索

※ なお、記事等で Google マップの画面を掲載する際は「引用:Google マップ」のクレジット表記をお願いします。

公開するマップの特徴

- ・ 市内全域の小学生・中学生の交通事故の発生場所や事故の概要を Google マップで確認できます。
- ・ 地図上のアイコンをクリックすると交通事故の概要が表示されます。
- ・ 交通事故箇所を Google ストリートビューでも見ることができます。
- ・ 神奈川県警察の交通事故データ(2017年から2021年までの5年間)をもとに作成しています。

■ 子どもの通学路交通安全対策事業の紹介ページを公開しています。

【公開先 URL】

https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kotsu/anzaen/kodomo_tsugakuro.html

横浜市 交通安全 検索

▼二次元コードはこちら

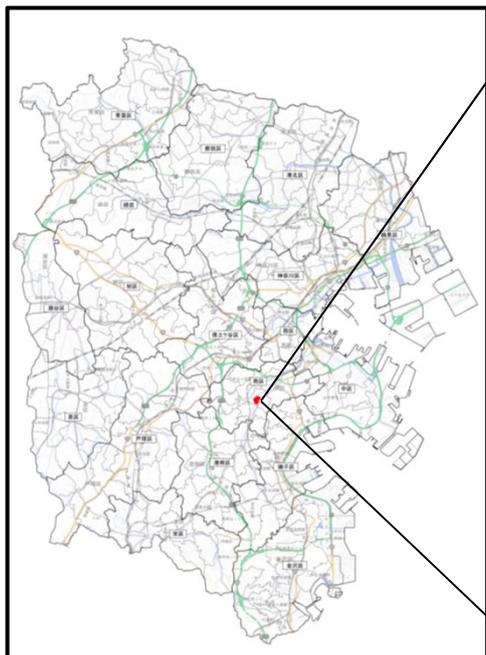


お問合せ先

道路局交通安全・自転車政策課担当課長 高橋 寛大 TEL 045-671-2294

■ ビッグデータを活用した交通安全対策プロジェクトの全体像

全市立小学校通学区(340校)



【提供するマップイメージ】

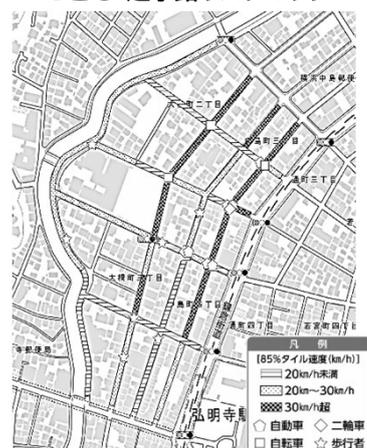
全市立小学校(340校)
子ども・交通事故データマップ



市内交通事故データをGoogleマップで可視化し、全市立小学校へ提供

交通安全推進校

子ども・通学路リスクマップ



南区大岡小学校周辺地区の事例

左図に加え、速度データ(ETC2.0ビッグデータ)を可視化し、交通安全推進校へ提供

《対策例》

全市立小学校通学区区域内

●ソフト対策

- ・小学校ではまっ子交通あんぜん教室(年250回)
- ・見守り活動の支援、はたふり誘導講習会
- ・幼児訪問指導、保護者向け講話



スクールゾーン対策協議会



見守り活動(はたふり)



交通安全教室

●ハード対策

- ・路面標示、区画線、あんしんカラーベルト、交差点カラー舗装等



区画線設置



あんしんカラーベルト



交差点カラー舗装

交通安全推進校通学区区域内

(R5:4地区/中期計画で10地区)

●ソフト対策

- 左に加え、「放課後キッズクラブ」で交通安全教室 【新規】
- ・幼児訪問指導、保護者向け講話 【拡充】
(全幼稚園・保育所等を対象)
- ・見守り活動の支援、はたふり誘導講習会 【強化】



放課後キッズクラブ



交通安全教室



幼児交通安全教育訪問指導

ソフト・ハード対策
ともに重点化

通学区内で、
点ではなく、
線的・面的に対策

●ハード対策

- 左に加え、物理的デバイス(ハンブ、狭さく、ゾーン30プラス等)



ハンブ

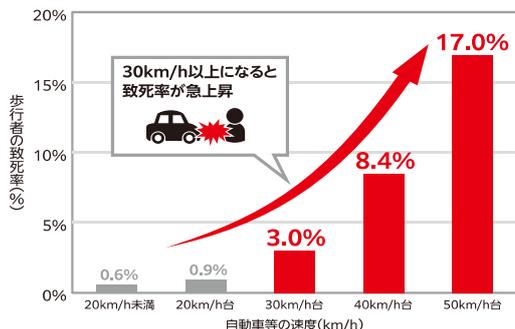


狭さく



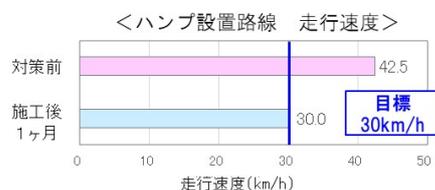
ゾーン30プラス

▼走行速度30km/h以下を目標



▼対策実施後も効果を数値化

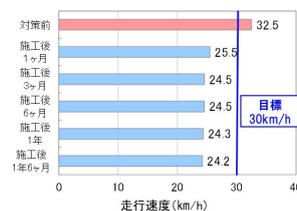
対策前後の走行速度
(南区大岡小学校周辺地区)



速度抑制対策を実施した箇所では、速度が30km/h以下に抑制されていることを確認

▼対策効果の持続性

(緑区中山町地区)



速度が30km/h以下に継続して抑制されていることを確認